



お西さん

2010
9-10

第7回

ごとう
後藤 素行 輪番



■在任期間
昭和46年8月7日～
昭和53年4月1日

NISHIBETSUIN
新生事業
推進計画



連載

旧を学びて
新を往く
あたらしき

代筆



山口教区 大津東組
佛言寺 坊守
鴻嶺 いほり子氏
(素行の次女)



山口教区 玖珂西組
光徳寺 代務住職
後藤 知紀氏
(素行の長男)

雪は下から降る

兄(後藤知紀)が、父の函館別院在任期間中の思い出を書くとありますが、余りない：と言うので、多少なりとも関わりがあった私が代わって書かせていただきます。

父が函館別院に赴任したのは、昭和四十六年八月、私が大学一年の夏休みの時でした。

山口の過疎の小寺で、三人の子供や家族を支えていくには困難なため、自坊の法務等は母や祖父に任せて、昭和三十年初期南の鹿兒島別院を皮切りに、人吉別院、本山参拝部に勤務。その後山科別院輪番

を経て函館別院に異動いたしました。

函館別院在任中、龍谷幼稚園の園舎の改修や増室を行い、送迎バスを購入し、全園児数を四百名余りに増員したと聞いております。



当時の送迎バス

「なごみ」の寺 本願寺函館別院

函館市東川町12-12 ☎(0138)23-0647

ホームページアドレス <http://hongwanji-h.h-tk.jp>

月忌参りお休みのお知らせ

9月23日(木) (彼岸お中日のため)

10月11日(月)～17日(日) (報恩講のため)

幼稚園での様子



当時、別院の事務を担当されていた高橋幸子さんや幼稚園の白井松子先生には、大変お世話になっておりました。

仏壮・仏婦等の各教化団体の代表の皆様、及び崇敬寺院のご住職・別院や幼稚園の職員の方々に手厳しかった記憶があります。よこしまなことをするのが大嫌いな父だっただけに、大人にとってはあの大きな目が睨みのきいた恐い眼に見えた筈。ところが、「園長先生」と駆け寄ってくる園児には、慈しみの目に変化し子供たちにとっては、大好きな優しい優しい園長先生だったようです。

そんな父の楽しみの一つは、どんなに法務が多忙でも、毎日別院のお朝事が終わるやいなや、駅前の朝市に出かけ自分の一日の食材を購入し調理することでした。

当時の函館の情景を、百華苑から発刊されていた「信仰」に、みやぎ柗の歌名で何度か詩にして載せておりました。

父が函館別院在任の後半、



京都の御本山においては、現即如御門主様と勝如前門様が世代交代。

昭和五十二年八月には、大谷光真御門主様が函館別院ご巡拝・十一月には大谷光照前門様御夫妻をお迎えして、親鸞聖人御誕生八百年・立教開宗七百五十年・函館別院公称百年の慶讃法要を厳修し、その際、客殿の増築や境内地の整備を行ったようです。

明くる五十三年の春、函館別院を最後に山口の自坊に帰省。

今年一月、父素行の十七回忌を終え、過ぎし年月の早さを身にしみて感じております。

この度、宗祖七百五十回大遠忌法要の記念事業として、本堂や幼稚園が再建されます由、喜ばしい限りです。機会があれば父の最後の赴任先であった北の地函館別院に、今一度参拝出来たらと思っております。

称名



ご法要での様子

常例布教

布教使さん紹介

9月12日(日)～16日(木)

常例布教使



福井教区
若狭組 西光寺

吉田 俊宣師

福井県の西南、若狭湾の真ん中の小浜市の西光寺住職の吉田俊宣と申します。一九四四年二月十四日生まれの六十六歳です。

今年の私の誕生日の「中日新聞」日曜日の「中日歌壇」に、いのち・人生を問うこんな素晴らしい短歌がありました。

古い先とふ 識れど知らざる 海原を
海図無きまま 水脈曳きて航く

愛知県大府市の丸山鉄夫さんという方の作品ですが、きつと「法縁の深い方だ」と思うのです。現代人の多くは、「自分の命でしょう、分かっていますよ！」と大見得を切って生きていますが、誕生に始まって臨終で終わる死んだら終いの生命にしがみついています。

我がいのち、どこから来てどこへ行くのでしょうか？必ず終わってゆかねばならないということは分かっているが、虚しく真つ暗がりへ死んでゆく生命を刹那的に生きるしかないのでしょうか。「識れど知らざる」いのちを私に代わって問うて下さっているのです。

平成22年

秋季彼岸会

台町出張所彼岸会

9月21日(火)・午前11時より

本院(西別院)彼岸会

9月21日(火)～23日(木)・晨朝：午前6時半より
速夜：午後1時半より

彼岸会講師



岐阜教区華陽組
等光寺

講師 小川 真理子師

函館別院には、このたび初めてのご縁を頂戴し、感謝致しております。

実は私ごとで恐縮ですが、本日(8月6日)前坊守が往生の素懐をとげました。先ほど病院から自坊に迎え入れたところであります。まさに諸行は無常であること、今こうして此処に生きてあることこそ不可思議な事実であること、前坊守が身をもつて示してくれています。同時に、今此処の「私」にこそ如来さまの願いが届いてくださってある真実まことを、我がお称え申すお念



※本院納骨堂及び台町墓地におきまして、20日(月)～24日(金)までおつとめを致します。※23日(木)は本院にてラムネとおだんごを販売致しますのでどうぞご利用ください。※秋のお彼岸はお花の販売を致しておりません。

■お供物についてお願いのしる

墓所においては、ガラス・キツネ等のイタズラが激しく、墓所の美観を損ね、納骨堂においても生菓子、供花が腐乱する可能性があるため、お供物は読経(お参り)が終えられましたら、仏様からのおさかりの品々ですので、必ずお食べになるか、持ち帰られますようお願い致します。

仏に聞かせていただくことであります。そのお念仏は、平等の救いを願いとする弥陀の誓願であります。平等の救いは同時に「いのちもあるすべてのいのちが御同朋であれ」との悲願であります。このたびのご縁では、特に【御同朋の願い】を課題として、ご法話させていただきましたつもりです。なぜに平等の救いが説かれなければならなかったのか。親鸞聖人のご生涯に学びつつ、苦悩するいのちの現実から、ともどもにみ教えに問い聞かせていただきたいと思います。

函館別院

10月13日(水)～16日(土)

講師／黒田 宏信師(熊本教区芦北組覚円寺)

江差別院

11月5日(金)～7日(日)

講師／井上 慶永師(新潟教区巻組妙光寺)

報恩講

平成22年

宗祖親鸞聖人

※詳細は追ってご連絡いたします。



新生事業(本堂新築)

現状報告会 7~8月

新生事業についての今までの経緯と現在の状況などについて皆様にお伝えするために、別院大遠忌法要事務所の募財勸励部会員・別院職員とで町会館・別院文化会館にて報告会をさせていただきました。



開催日	会場	参加者
7月25日(日)	松陰町会館	5名
7月31日(土)	美原町会館	20名
8月 1日(日)	本通町会館	5名
8月 8日(日)	東山町会館	6名
8月 8日(日)	別院文化会館	29名
8月21日(土)	日吉町会館	9名
8月22日(日)	湯川3丁目町会館	4名
8月22日(日)	万代町会館	11名



今回の質疑応答の一部を下記に掲載致しました。
 (Q: 参加の方からのご質問 A: 回答)

- 1** **Q** 新生事業収支計画額表の収入にある「所有地処分その他」の所有地とは何ですか？

A 以前、三出張所閉鎖にともない購入した石川町(稜北高校近く)の土地です。市街化調整区域の規制がとれることなく現在にいたり、本山から専門の方に来て見てもらい、今回売却する予定になりました。
- 2** **Q** 4口20万円を一度に納めるのは難しいのですが、分割で納めるのは可能でしょうか。また分割の場合、院号をいただけるのでしょうか。

A ご家庭の事情にあわせてご進納いただければと思います。分割でも、その都度領収書をお渡しいたします。また保管用の封筒もごさいます。院号は20万円完納しました時点で申請いたします。
- 3** **Q** 趣意書といっしょに振込用紙が入っていて、「すぐ振り込みなさい」と言われている印象がありました。

A お納めいただく方法の一つとして選んでいただければと同封しましたが、結果として失礼なことになってしまいました。心よりお詫び申し上げます。
- 4** **Q** 本堂はイス席になるんですか？

A お参りしやすいように今の時代に合わせて全席イスにする予定です。また、靴を脱がずに土足でお参りできるようにと考えています。
- 5** **Q** この報告会への参加者が少ないので、事業が進められるのか心配です。

A 新生事業はまちがいなく行なっていきます。それにあたって、経過のご報告や改めてのご説明・お願いをさせていただきます。
- 6** **Q** 檀家数やお参りの希望者が減っていく状況で、これだけの規模のものを建てる必要がありますか。

A お念仏を伝えていくことがお寺の役割であり、建物や境内を整備するだけではなく、この役割を別院がいつまでも行なっていけるようにすることが新生事業の目的です。そのために本堂を建て、これから多くの方がお念仏に出遇うご縁を結んでいただく努力をしていきます。

今回の報告会で多くの貴重なご意見を賜りました。改めて検討をし、皆様にご理解いただける事業にしつつ、皆様とともに進めてまいります。新生事業については、今後も報告会・本誌「お西さん」などでお伝えさせていただきます。今後ともご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い致します。

(本堂新築について、または懇志の進納方法等でご不明な点がございましたら、どうぞ担当職員にご相談下さい。 西別院 ☎0138-23-0647)

お西さんの盆踊り



7月24日 土曜日 思い出写真集

天候も良く、よさこい、縁日、太鼓や踊り、とても楽しい時間はあっという間に過ぎました。



輪番あいさつ



今年は飲み物が売れました。



YOSAKOI



園児の踊りも元気!



和太鼓



司会がんばりました。



獣神ナカムライガー参上



教化団体だより

仏教婦人会

研修旅行(8月23日)参加会員人数17名

会員 北川佐津子

お天気も良く、行く先は概法華のホテル恵風です。

途中、柏木町の勝善寺さんにお伺いし、ご住職さんより、大森町で大火に遭い現在の位置に移転したと説明を受けました。

立派な聖徳太子像と一刀彫りのお釈迦様が安置されておりました。お参りをしご縁を結び、恵山へ向かいました。

途中、海の色と山の緑に満足しながら、小旅行の気分にならせて戴きました。到着後ひと休みして食事、その後それぞれ温泉に入り明日への活力を充分満喫しながら、和気あいあいと楽しく過ごさせて戴きました。

雨にも当たらず気温もさほど感じないまま帰途につき、一人一人のご縁に感謝しながら、常にお陰様の気持ちをお忘れず過ごしていきたいと思えます。合掌

仏教婦人会の予定

- 9月12日(日)
正午～
常例仏婦の日
キッズサンガ打ち合わせ
- 9月23日(木)
午前9時～
秋季彼岸会奉仕活動
(団子・ラムネ販売)
- 10月11日(月)
午前9時～
奉仕活動(おみがき)
- 10月13日(水)～16日(土)
報恩講 ご接待とお食事の準備
- 10月23日(土)
報恩講後のため
例会はお休み



仏教壮年会

第6回東日本仏教壮年会
(7月17日～18日)参加報告

会員 渡邊 威

昨年、発足30周年の別院壮年会、小生も当初からの会員にさせていただいております。壮年会が連盟組織になつてからの初めての大会参加でした。

昔の本山詣での寝台列車「日本海」で、京都ではなく、めざすは北陸路、直江津、国府別院。妙高高原の集会所で、手厚い接遇を受けながら開催されました。

北海道をはじめとする各教区の実情が紹介され、どの教区からも会運営のむずかしさを苦渋の言葉をもって吐露され、とりわけ開催主体の国府教区が小規模教区故の困難さははっきりと言っていたのが印象に残りました。

函館別院から国府別院に転勤した西村さんが、大会開催準備の激務のせいも、多少、「大」から「中」になったよう、ご苦労が察せられました。

散会后、居多ヶ浜を見学。親鸞聖人流配の地は今昔、休日のせいもあってか、行楽の海水浴客で賑わい、水上ボートのエンジン音が浜辺にこだましていました。

親鸞聖人ゆかりの竹之内草庵やさまざまの旧跡を参拝し、恵信尼様のおしるし「こぶしの花」の残香を惜しみつつ、国府の地をあとにしました。



竹之内草庵



恵信尼公廟所

YBA 仏教青年会

8月3日、函館港祭りに参加し、函館名物イカ踊りを体験してきました。まず人の多さにびっくり！函館にこんな人がいたのか…。

イカ踊りについて何も知らないまま参加した私ですが、周りの方の熱意が伝わり、五稜郭に着くころにはすっかりイカ踊りを完璧に習得していました。何か函館にいることをようやく実感することができ嬉しくなりました。

荻

ボーイスカウト

ベンチャー隊 阿部 李帆

8月2日から8月8日まで静岡県で、第15回日本ジャンポリーが開催されました。(通称15NJ)。

初めてのジャンポリーは楽しみな反面、不安でした。でも、実際に行った感想は、すごく楽しかった！この一言です。たくさんの仲間もできました。15NJは自分の成長や仲間を作る大切なものと分かり、今のクラブやボーイの子達にも是非参加してほしいと思いました。最後に、引率してくださったリーダーや影で支えてくれたスタッフの皆さんありがとうございました。

お悔やみ申し上げます

永代経懇志
ありがとうございます

ちょんぽんぽんぽんぽんぽんぽん
ご門徒さんから頂いた作品を
紹介させて頂きます。


彼女つれ御披露目となる盆帰省
美原5丁目 三ッ谷 重次

セキレイの身振り素早く
鋭角を切りて乱れず波打ち際を
湯浜町 土矢 成道

湯浜町 土矢 成道

木洩日や眠りを誘ふハンモック
松川町 川上 愛子

松川町 川上 愛子

北の夏花火のごとく去ってゆく
田家町 高崎 秀香

田家町 高崎 秀香

皆さんも俳句、短歌、漫画などお寄せ下さい。

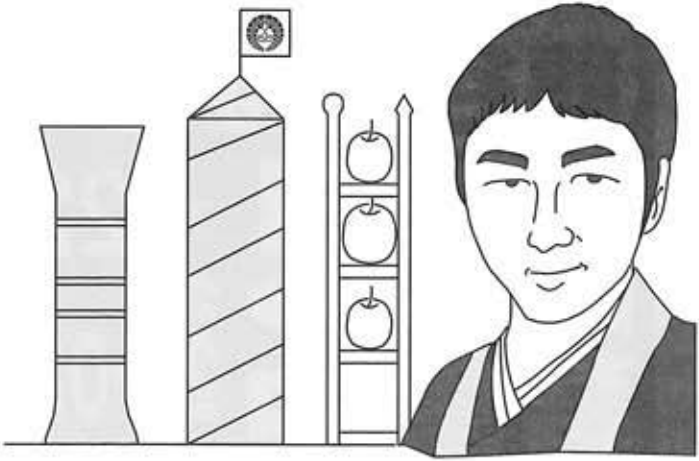
テレフォン法話順番表

- 9月5日(日) ↓ 9月11日(土) : 永江(参)
- 9月12日(日) ↓ 9月18日(土) : 西村(承)
- 9月19日(日) ↓ 9月25日(土) : 9月常例講師
- 9月26日(日) ↓ 10月2日(土) : お彼岸講師
- 10月3日(日) ↓ 10月9日(土) : 中村(承)
- 10月10日(日) ↓ 10月16日(土) : 谷口(承)
- 10月17日(日) ↓ 10月23日(土) : 報恩講師
- 10月24日(日) ↓ 10月30日(土) : 荻(承)
- 10月31日(日) ↓ 11月6日(土) : 中尾(輪)

電話 01388-271-2424
24時間お好きな時間帯にご利用ください

お西さん7つのまちがいさがし

今回はお彼岸報恩講ということで、お供物を作っている様子です。まちがいは7つです。答えは左下にあります。



大募集

お便り
仏教に関するご質問等、どんなことでも結構です。「お西さん」にて、お答えします。

表紙
趣味の絵や写真で表紙を飾りませんか?
アマチュア・セミプロ・自薦他薦は問いません。

あて先
函館市東川町12番12号
本願寺函館別院内 お西さん担当迄

電話 01388(0)233-0647

編集後記

暑い暑いと、気がつけば9月。次男坊も1歳になり元気がいっぱい。仰向けで寝ると腰の上に馬乗りされます。メタボ予防に腹筋が鍛えられそうです。

今年には本当に暑い日が続きましたね。蒸し暑い関西をおもわず思い出しました。人間の体って不思議ですね。関西にいたときは平気な暑さも、今や函館仕様の体のようです。暑くてたまりません。この号が出る時には涼しくなっています。

西村

本願寺函館別院内のお西さん担当
〒013-8802 函館市東川町12番12号
TEL: 01388-233-0647
FAX: 01388-233-0648
E-MAIL: info@onishi-hokkaido.com
★Web: onishi-hokkaido.com



こどものつぶやき



今回も園児と先生の迷トーク集をご紹介します。

お泊り会

7月22日木曜日。年長組さんが楽しみにしていたお泊り会が幼稚園にて行なわれました。皆で晩ご飯の夏野菜カレー、トマト洋風みそ汁、かぼちゃパイを各グループに分かれて作ったり、お寺のお風呂に入ったり、スイカ割りや花火をしたりしました。最後のしめとして、肝だめしも!! 先生方もはりきって変装したり、色々と仕掛けをしたり。いざ始まると、ほとんどの子が大泣き!!



「人間の子どもです。お願いだから食べないで〜(泣) 美味しくないから、どうかおばけの国に帰って下さい。」と泣きながらお願いする子。



普段はマイペースな子なのに、こわくてこわくて、猛ダッシュで走り逃げて行く子。などなど、楽しくて(先生たちには笑)こわ〜い、肝だめしとなりました。



※最後に廊下や保育室に電気をつけ明るくして種明かしをしました。



ちよんちよん!

暑くてシャツ姿になっていたMちゃん。そのシャツから見ていた背中ほくろが気になっていたFくん! ちよん!ちよん!とMちゃんのほくろをさわってみたら… Mちゃん「やーっ!! とらないでよ〜。」 Fくん「…ごめん。」 るみ先生「とれないから〜!!」と大爆笑。

英語教室にて ABC

アルーン先生が持って来てくれた、鳥のトゥッキー(ぬいぐるみ)を見て、先生達「トゥッキー、動いてるよ!すご〜い!! 生きてるんじゃない?」と話していると、Rちゃん「誰、入ってるんだろうね〜。」ときょとんとした表情。それを見て、私たち教師は「誰だろうね?」と言いながら大爆笑していました。本当はトゥッキーの足や腕にひもをつけて棒を使って動かしてくれていたんです。

りゅうこく 心のやさしさを育む宗教保育

龍谷幼稚園 **すぐご入園** できます。

園児 平成22年度

募集 園児 **23-0274** お問い合わせは

ホームページアドレス <http://ryukoku.h-tk.jp/>

★保育料・園までご連絡下さい。

★対象→龍谷幼稚園児並びに2歳以上の弟妹

★担当→幼稚園の先生

★内容→保育終了後毎日幼稚園振替日/夏・冬休み(土曜日のみ要予約)

◎お仕事をされているお母さんや、用事でしばらくみて欲しい人のために、幼稚園の保育がすんだあと、夕方6時30分までお預かりいたします。

預かり保育

燦さん 燦くらぶ

燦さん 燦くらぶ ご案内